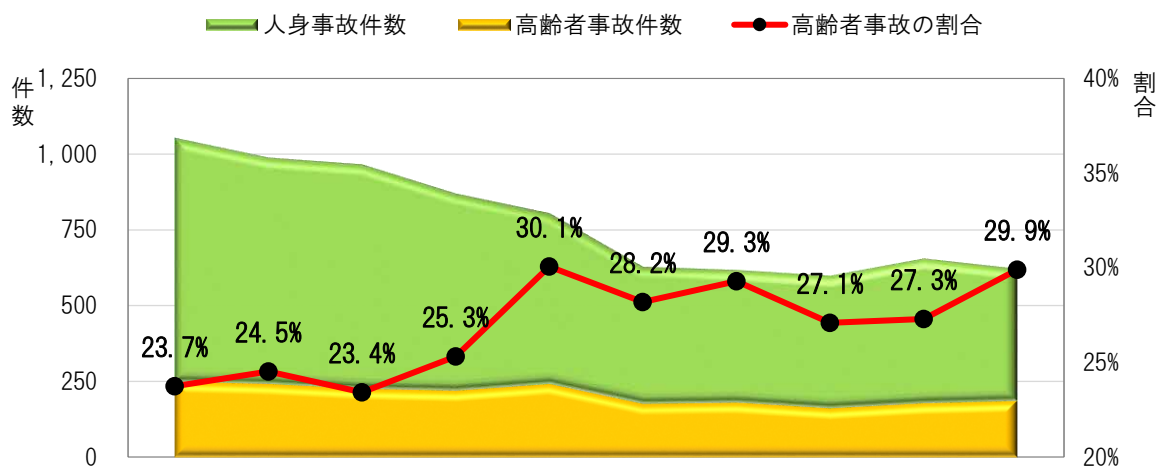


1 人身交通事故の推移（平成27年～令和6年）

※ 高齢者事故：本資料中において高齢者が第1当事者となった事故

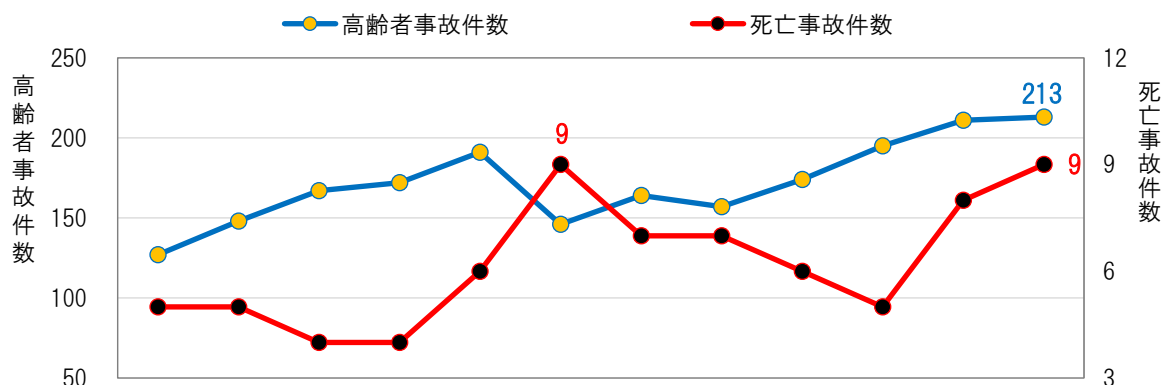


	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
人身事故件数	1,053	987	965	869	805	628	618	598	656	622	7,801
うち高齢者事故件数	250	242	226	220	242	177	181	162	179	186	2,065
うち75歳以上の事故	91	101	83	81	100	71	55	68	81	94	825
死者数	38	17	26	20	31	17	19	14	14	15	211
うち高齢者死者数	21	11	17	8	20	8	11	6	9	12	123
うち75歳以上死者数	15	8	7	6	13	4	7	3	6	7	76
負傷者数	1,250	1,243	1,162	1,029	957	749	694	691	762	702	9,239
うち高齢者負傷者数	217	224	220	192	188	130	138	103	140	128	1,680
うち75歳以上の負傷者数	89	84	83	74	78	52	50	48	57	52	667
高齢者事故の割合	23.7%	24.5%	23.4%	25.3%	30.1%	28.2%	29.3%	27.1%	27.3%	29.9%	26.5%
高齢者死者の割合	55.3%	64.7%	65.4%	40.0%	64.5%	47.1%	57.9%	42.9%	64.3%	80.0%	58.3%

- 人身事故件数は減少傾向で推移しており、令和6年は622件と平成27年の1,053件から431件減少（減少率40.9%）している。一方で、65歳以上の高齢者事故件数は、令和6年は186件（29.9%）と平成27年の250件（23.7%）から64件減少（減少率25.6%）したが、高齢者事故の割合が高くなっていることから、増加傾向で推移していると言える。
- 死者数は増減を繰り返しながら推移している状況にあるが、全死者に占める高齢者の割合は、40%台から80%台と高い割合で推移している。
- 負傷者数は減少傾向で推移し、令和6年は702人と平成27年の1,250人から548人減少（減少率43.8%）している、高齢者の負傷者については、令和6年は128人と平成27年の217人から89人減少（減少率41.0%）しており、全体の減少率と同様の結果となった。

2 高齢者事故の分析結果（平成27年～令和6年）

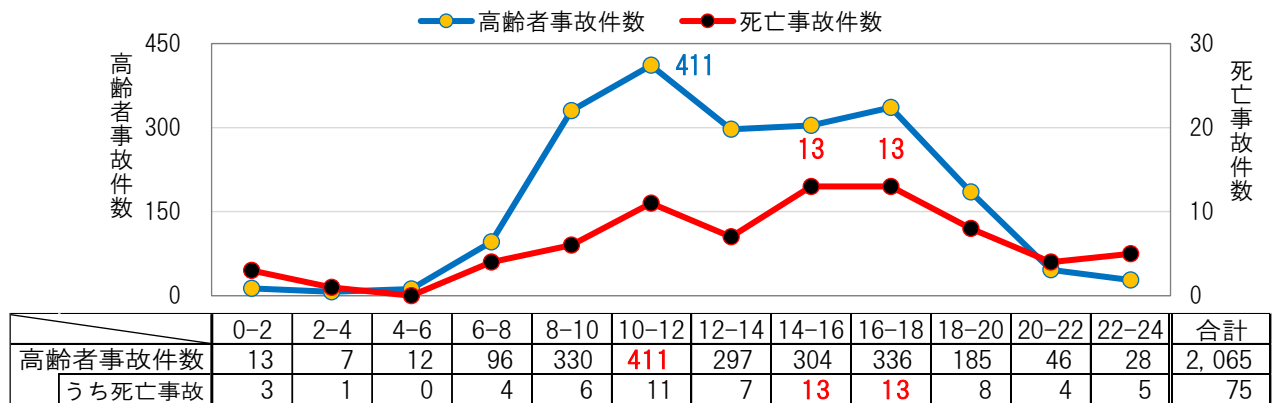
(1) 月別発生件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
高齢者事故件数	127	148	167	172	191	146	164	157	174	195	211	213	2,065
うち死亡事故	5	5	4	4	6	9	7	7	6	5	8	9	75

- 高齢者事故件数は12月が213件（10.3%）で最多、10月から12月に619件（30.0%）発生
- 死亡事故件数は6月と12月がそれぞれ9件（12.0%）で最多

(2) 時間別発生件数



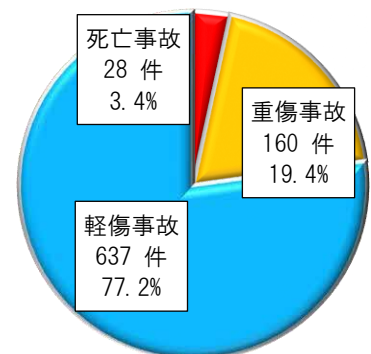
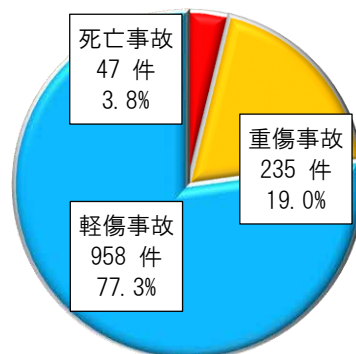
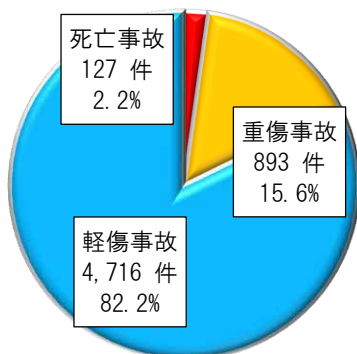
- 高齢者事故件数は10時から12時までの間が411件（19.9%）で最多
- 死亡事故件数は14時から16時及び16時から18時までの間がそれぞれ13件（17.3%）で最多

(3) 第1当事者の年齢層別・事故内容別の発生件数（8,347件）

ア その他年齢（5,736件）

イ 65～74歳（1,240件）

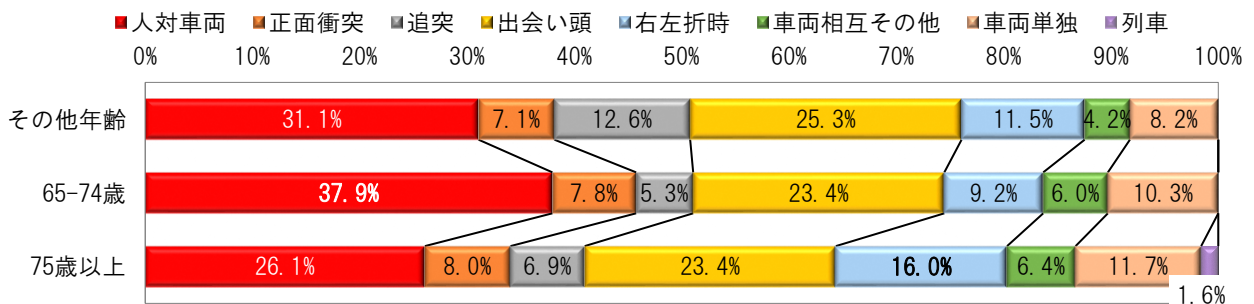
ウ 75歳以上（825件）



- 高齢者は他の年齢と比較して、死亡・重傷事故の発生割合が高くなる傾向
- 75歳以上では、死亡・重傷事故が全体の22.8%を占め、その他年齢（17.8%）の約1.3倍
- ※ 重傷事故：1か月以上の治療を要する負傷のある交通事故

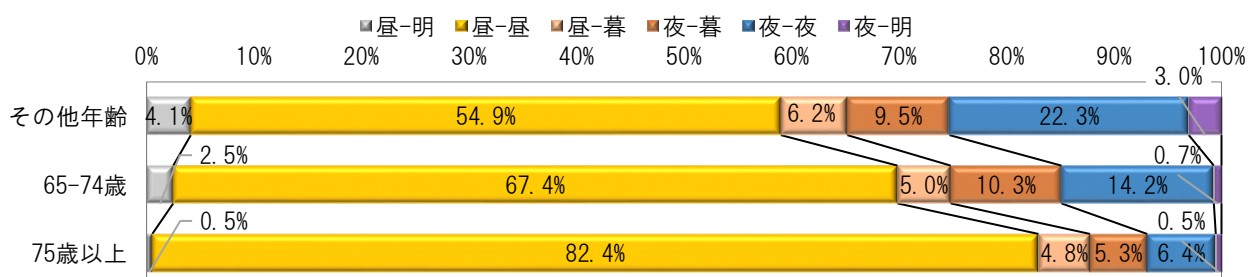
(4) 第1当事者の年齢層別・事故類型別発生状況（死亡・重傷事故）

（全死亡・重傷事故件数1,490件～その他年齢 1,020件：65～74歳 282件：75歳以上 188件）



- 死亡・重傷事故の事故類型では、65～74歳は人対車両事故の割合が高く、75歳以上では右左折時の割合が高い。

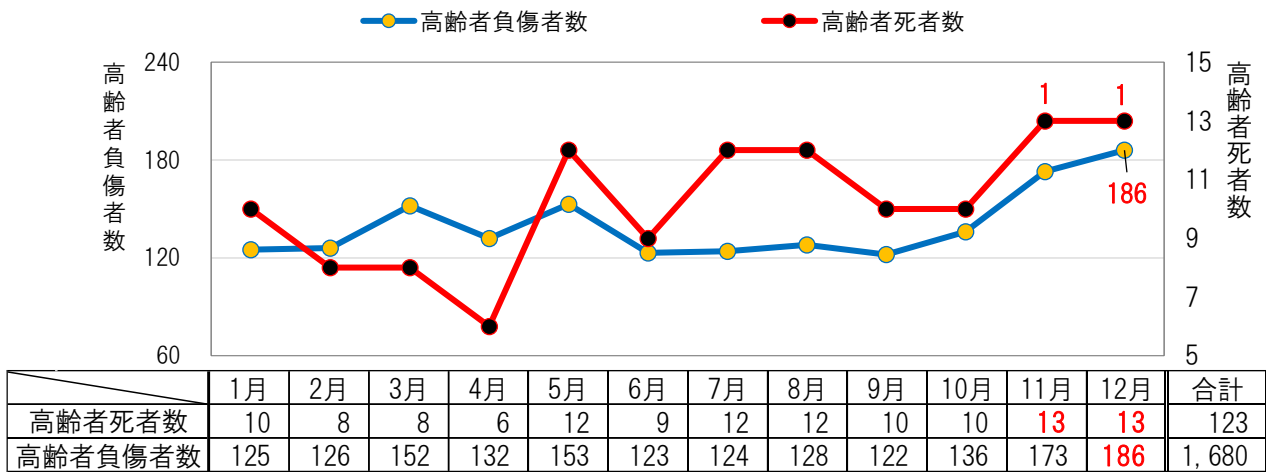
(5) 第1当事者の年齢層別・昼夜別発生状況（死亡・重傷事故）



- 死亡・重傷事故の昼夜別では、高齢になるにつれ昼間（昼-昼）の割合が高い。
- ※ 昼-明（日の出後1時間）：昼-暮（日没前1時間）：夜-暮（日没後1時間）：夜-明（日の出前1時間）

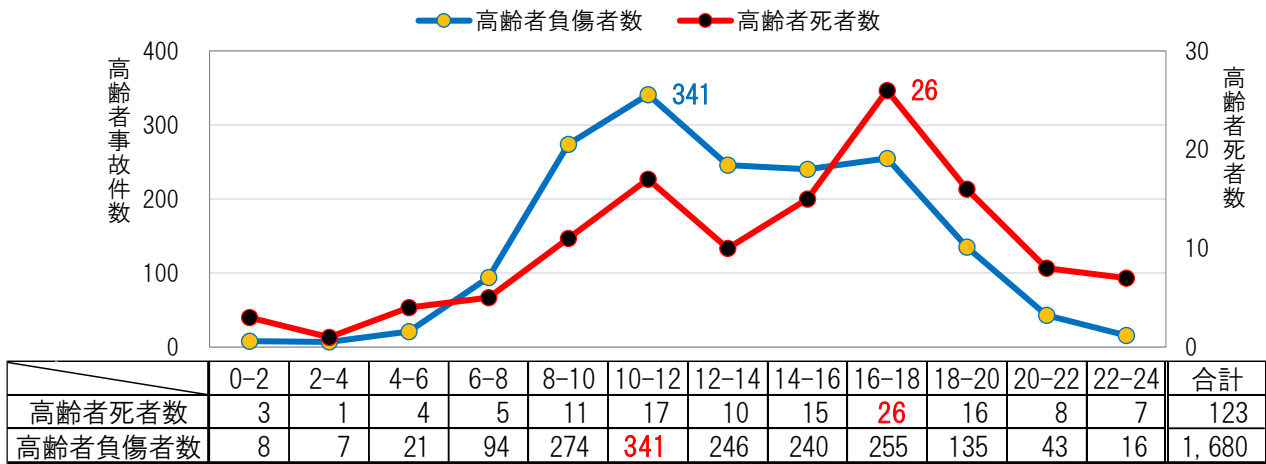
3 高齢者が死傷した交通事故の分析結果（平成27年～令和6年）

(1) 月別死傷者数



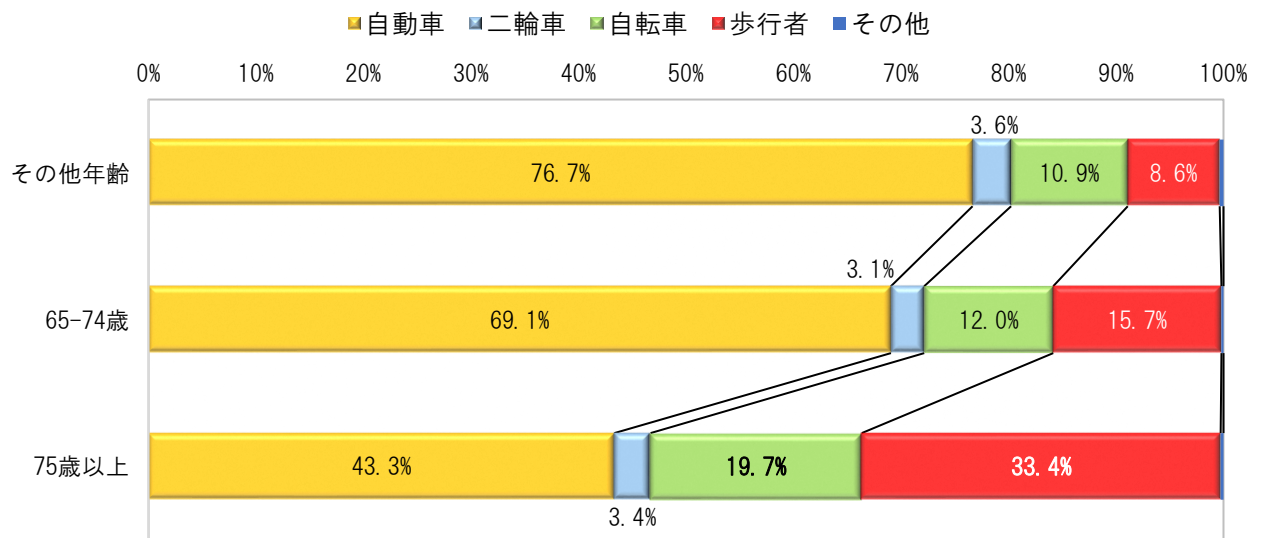
- 高齢者死者数は11月と12月がそれぞれ13人（10.6%）と多い。
- 高齢者負傷者数は12月が186人（11.1%）と多い。

(2) 時間別死傷者数



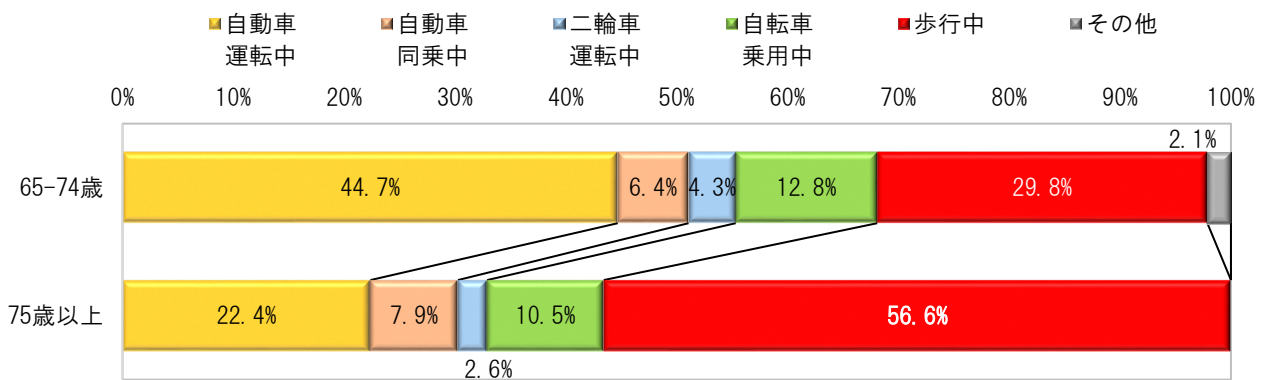
- 高齢者死者数は16時から18時までの間が26人（21.1%）と多い。
- 高齢者負傷者数は10時から12時までの間が341人（20.3%）と多い。

(3) 年齢層別・状態別死傷者割合 ※ 状態別には運転者と同乗者が含まれます。
（全死傷者数9,450人～その他年齢 7,647人：65-74歳 1,060人：75歳以上 743人）



- 高齢になるほど、歩行中及び自転車の被害割合が高くなる傾向にある。
- 75歳以上では、歩行中が33.4%でその他年齢の約3.9倍、65～74歳の約2.1倍、自転車は19.7%でその他年齢の約1.8倍、65～74歳の約1.6倍となっている。

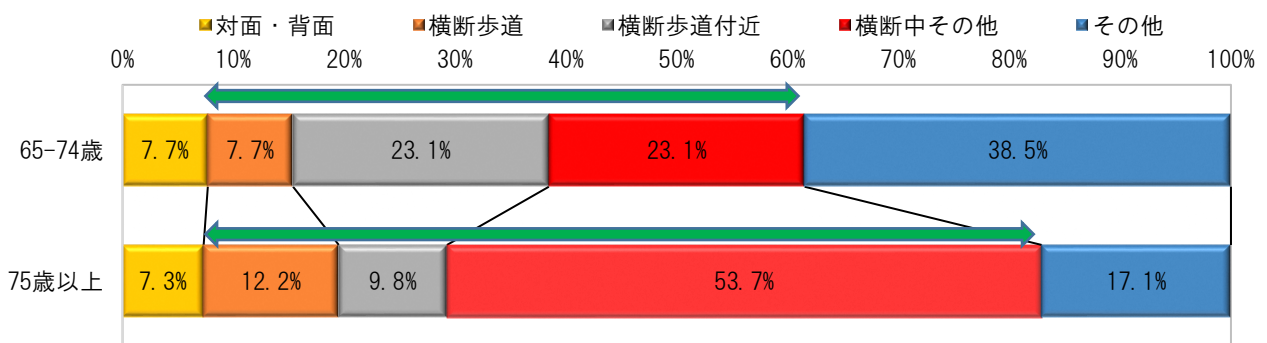
(4) 状態別死者割合（高齢者）



- 65～74歳（死者数47人）は、自動車運転中の割合が44.7%と75歳以上の約2倍高い。
- 75歳以上（死者数76人）は、歩行中死者の割合が56.6%と65～74歳の約1.9倍となっている。

(5) 人対車両事故における歩行中死者（54人）の事故類型別割合

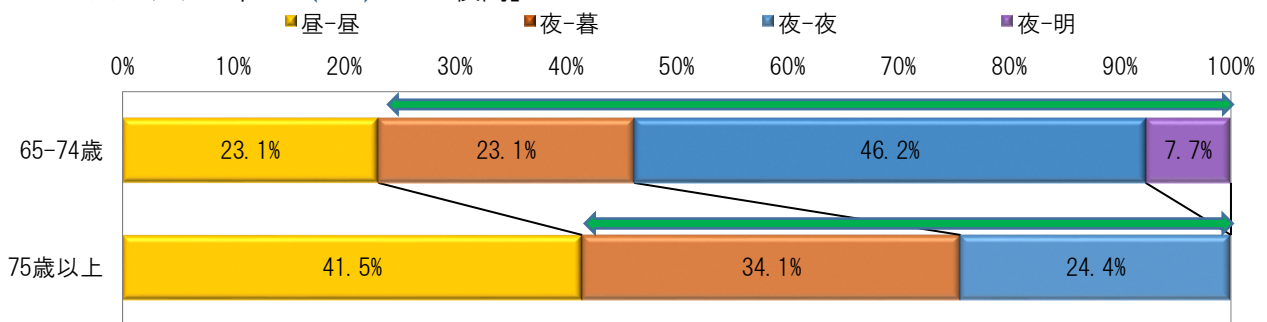
※ グラフ中の は「横断中」



- 65～74歳（死者数13人）は、横断中が53.8%となっている。
- 75歳以上（死者数41人）は、横断中が75.6%と突出し、特に横断歩道のない道路における被害割合が53.7%と65～74歳の約2.3倍となっている。

(6) 人対車両事故における歩行中死者（54人）の昼夜別割合

※ グラフ中の は「夜間」



- 65～74歳（死者数13人）は、昼間が23.1%、夜間が76.9%と夜間の割合が高く、特に夜間のうち、夜-夜（日没後1時間経過後から日の出1時間前）の割合が46.2%と75歳以上の約1.9倍となっている。
- 75歳以上（死者数41人）は、昼間が41.5%、夜間が58.5%と夜間の割合が高いが、昼間の割合は65～74歳の約1.8倍となっており、夜間については、夜-暮（日没後1時間以内～薄暮時間帯）が34.1%と65～74歳の約1.5倍となっている。

※ 夜-暮（日没後1時間）：夜-明（日の出前1時間）

※ 割合については、単位未満で四捨五入しているため、合計が100とならない場合があります。